

## 第 2 次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 令和 4 年度評価について

## 1 趣 旨

第 2 次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略を検証し着実な実現を図るため、その進行管理として「評価」を実施するもの

## 2 対 象

第 2 次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けている 12 の基本施策に基づく KPI（重要業績評価指標）及び取組

## 3 基準日

令和 5 年 3 月 31 日

## 4 実施概要

- ①第 2 次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和 2 年度～令和 6 年度）に位置付けている事業の KPI に関する進捗状況の評価
- ②これまでの取組（令和 2～4 年度）の評価
- ③今後の取組予定の検証（令和 5・6 年度）

## 5 施策評価「第 2 次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けている事業の KPI」の進捗状況（全 30 項目）

評価	評価基準(令和 6 年度の目標値に対して)	該当項目数 ( ) 内は前年度
◎	100%以上達成見込み	10 (10)
○	75%以上達成見込み	5 (8)
▲	75%未満の達成見込み	15 (10)
—	評価不能	0 (2)

## ○総括

- ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベントや調査が実施されなかったことにより指標が算出できなかったものは「評価不能」としていたが、今回は評価不能となったものはなかった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は小さくなってきたが、年次が進むごとに目標値も高くなることもあり「▲」となった指標が増加した。
- ・「▲」と評価した 15 項目のうち 6 項目が新型コロナの影響を受けているが、回復傾向にある。

## 6 施策評価「5 これまでの取組と評価（令和2～4年度）」の評価（全78項目）

評価	評価基準（取組予定に対して）	該当項目数（）内は前年度
◎	取組内容が順調に実施されている。	17（28）
○	取組内容が概ね順調に進んでいる。	56（43）
▲	取組内容が遅れている。	5（7）

### ○総括

- ・「◎」及び「○」が93%となっており、全体として取組状況はおおむね順調に進められているが、「◎」が減り「○」が増加している。
- ・KPIの評価と乖離しているが、新型コロナウイルスの影響を受けつつも可能な範囲で工夫しながらすべきことを行ったため、取組自体は進んでいると評価したことによる。
- ・「▲」と評価した5項目のうち3項目がイベント等の開催に係るものであり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。

## 7 今後の取り組みについて

新型コロナウイルスについては、感染症法上の取り扱いが変更されたことにより、イベントが再開されるなど各事業への影響は小さくなってきていることから、最終目標に向け取組を推進していく。

また、現総合戦略は計画期間が令和6年度をもって満了するため、このことに合わせ改定する必要があり、令和6年度に見直しを行っていく予定としている。

国においてはデジタル技術の活用により地方創生を進めていくこととし、デジタル田園都市国家構想を策定しており、こうした動きに合わせ、市としても今後、総合戦略にDXを推進する取組を取り入れていく必要がある。